

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	奈良井宿のおもてなし商品開発事業
事業主体 (連絡先)	桜香会
事業区分	特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	7,212,860円 (うち支援金: 4,827,000円)

事業内容

奈良井地区では古くから山菜類を栽培、または自生している野草、山菜を食し楽しんできた。

桜香会は三年前より地域発元気づくり支援金を活用し、とうぶきを奈良井宿の特産、名物とするための菓子類5種、ピクルス3種を加工し販売している。商品開発菓子工房を設置し、県内外へと発信アピールに取り組んできた。

令和元年から2年間、原点に戻って「今・何をすべきか」見つめ直してきた。

そこで、とうぶき本来の味を求めるには漬物工房の増設が必要との結論になり、計画実行に移した。

事業効果

①事業推進の円滑化を図るとともに、地域住民参画を推進継続することで、奈良井宿の名産品を「とうぶき」として地域住民に意識・浸透に努めた。

また、遊休荒廃地を整備し自生化している「とうぶき」の保護と育成に努めた。

②商品加工所・漬物部の増設

賃貸物件 塩尻市大字奈良井 368 (空き蔵一部解体設置)
施設整備工事の実施

漬物部の増設により、商品の種類が拡大できた。

地元で働く場所を提供できるように取り組んでいく。

(活動写真)

【商品加工所・漬物部増築箇所】

【目標・ねらい】

- ①高齢化や空き家の増加、また、遊休荒廃地に対する対策を実施する。
- ②観光面で、滞在時間の延長を図る取り組みを実施する。

※自己評価【B】

【理由】

・コロナ禍により商品開発および販売収入は減収となったが、漬物部の増設工事を実施し、商品種類の拡大や販売促進等に取り組むための事業を実施することができた。

今後の取り組み

とうぶき漬物類の商品化に努力し、自立運営の確立と安定した事業収入の確保に努めていく。
地域活性化のため「奈良井宿おもてなし事業」として更なる発展を目指し、地域住民の更なる地域特産認識を定着させる。

過去3年間の「奈良井とうぶき」PRをさらに積極的に進め、ポスター・広報関係(報道機関へのPR)を活用し観光客に奈良井宿の「食」として、宣伝活動に努めていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある